

2025年は生成AIが文章やデザインを一瞬で仕上げる一方、わざわざ人が「手で残す」ものに価値が集まりました。直筆のサイン、走り書きのメモ、封書で届く短い手紙。効率では測れない「人の温度」が話題になりました。その温度を、どうやって暮らしや仕事に混ぜ込むか。これが来年からのテーマになりそうですね。

知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識 : 【一獲千金の税務処理はお忘れなく】

一獲千金には夢がありますが、その後の税務処理を怠ると大きなリスクとなります。競馬や競輪などの公営競技の払戻金は、原則として一時所得に分類されます。例えば趣味で馬券を購入する一般の愛好家の場合、外れ



馬券代は必要経費としては認められず、当たり馬券代だけが控除の対象となります。年間50万円までの払戻金は申告する必要はありませんが、払戻金から当たり馬券代を差し引いた残額が50万円を超えると、その超過分の半額が課税対象となります。一方、自動購入ソフトなどを用いて網羅的に購入し、継続的かつ営利目的で取り引きしていた場合は雑所得に該当します。このような場合には、外れ馬券代も経費算入が認められると裁判所が判断しました。また国税庁は、ネット購入履歴の蓄積データを通じて課税の適正化を進めており、国の行政機関である会計検査院も高額払戻しの未申告を課題と指摘しています。宝くじが非課税であるのと対照的に、公営ギャンブルでは夢と税負担が表裏一体にありますね。

光を放つ 名言コラム

【天辺より先がある】

2025年6月に女性で初めて日本将棋連盟の会長に就任した清水市代氏。あるネット番組の中のインタビューで、棋士として新たな境地に立った時のことを語っていました。両親に「天辺とります」と宣言して16歳で女流棋士になり、27歳で当時の全タイトル4冠を制覇したあと、しばらく目標を見失ったという清水氏。そんなとき、庭のテントウムシが花弁を上り、端から飛び立つ姿を見て「天辺より先がある」と気付いたそうです。ゴールにたどり着いたらほっとするのも束の間、同時に生まれた空白に戸惑う人もいるでしょう。達成した目標が大きいほど喪失感も大きそうですが。しかしテントウムシを見て心が動いたのは、その空白のおかげかもしれません。心身に余裕がないれば、他の世界は目には入っても気付かない。次の目標に向けて再び歩き出すためにも、あせることなく空白の時期があつていい。そう思います。

世界の偉人伝

今月の偉人 : 【ミヒヤエル・エンデ】

ミヒヤエル・エンデは20世紀のドイツの児童文学作家です。ドイツ南部の町ガルミッシュで画家の父のもとに生まれました。シュタイナー教育を受けた後に演劇学校に入学、卒業後は俳優業のかたわら詩や戯曲、小説を執筆しました。代表作の『モモ』や『はてしない物語』はファンタジーながら世代や国境を越えて世界中で愛読され、映画や舞台で上演されています。「未来の世界はファンタジーからしか生まれ育たない」の言葉通り、作品からは、文明社会の真理が浮き彫りに見えてきます。

スチームアイロンを使わずしてTシャツのシワを素早く伸ばす方法です。Tシャツをハンガーに吊るしてシリの部分に軽く霧吹きして、そこにドライヤーの高温の風を当てます。織維が柔らかくなつてシリが伸びるので、最後に全体を軽く引っ張り形を整えましょう。

得する
知恵袋

オ人の言葉

放でき、自分がどうにもくつ抜くものはも

古代ギリシアのストア派の哲学者であるエピクテトスの言葉。自分がコントロールできるものだけを欲望の対象に限定し、そうでないものなど放っておけばいい。

振り向けば「あそこにもここにも商売のヒント」

今月の商売のヒント：【健康を守る経営】

2025年は気候のリズムが例年以上に乱れ、春の桜は早く咲き、夏は記録的な猛暑、秋はあっという間に駆け抜けました。当然のことながら自然の変化は暮らしだけでなく、少なからずビジネスにも影響しました。業務やスケジュールが左右され、エアコンの電気代や物流のコストなどが重くのしかかり、変化に合わせた選択や行動が経営の安定に不可欠でした。小さな判断や工夫の積み重ねが結果として会社を支えることを実感し、経営者として重要な学びにもなったのではと思います。大変な年ではありましたが、変動の多い1年を通じて「社員も経営者も対応力を磨くチャンスに恵まれた」と前向きに捉えたいところです。さて、年の瀬の今こそ振り返りたいのは「今年うまく機能した柔軟さ」と「来年に持ち越す課題」です。特にこれから時代、従業員の働きやすさや健康をどう支えるかは、会社の規模や業種を問わず考えておきたいテーマです。フレックスタイム制など勤務時間の調整や休憩の取り方、オンライン会議の導入、オフィス環境の快適さなど、日常のちょっとした工夫が集中力や体調の維持に役立つでしょう。こうした配慮は単なる福利厚生にとどまらず、社員の安心感や定着率、取引先からの信頼にもつながります。人材確保が難しい時代だからこそ「健康を守る経営」は企業の信用力を支える重要な要素になると思います。時代の変化は避けられません。気候や社会の揺らぎを「リスク」と捉えるだけでなく、挑戦や改善の「機会」として受け止め、自分たちのリズムに変えていくためにはどうしたら良いか？そんなことを自問自答しながら迎える年の瀬です。



今月のトピック：【スパットシューズ】

靴の専門店チヨダの「スパットシューズ」がブームです。手を使わず、屈むことなくスパッと履ける。その秘密は靴べら状のかかとだとか。ビジネスからレディース、ジュニアにも展開し、お年寄りや妊婦にも喜ばれています。現場のニーズを捉え「脱げにくくて、脱ぎやすい」靴を実現。専門店ならではのプライベートブランドの面目躍如です。



トナリの木相

【国宝】

朝日新聞の連載時から反響を呼び、映画化されると海外から高評価を得た吉田修一の小説。歌舞伎の世界の華やかさと裏側に触れた余韻を味わえる一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所♣

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>